



看護

No. 89

くまもと



CONTENTS

- 会長あいさつP2
- 平成25年度看護管理者会P3
- ワーク・ライフ・バランスの取り組みP4~P5
- 熊本市民健康フェスティバルP6
- 潜在看護師再就業支援研修会P7
- がんばれナースP8
- 介護福祉施設の看護師紹介P9
- ハーモニーランドご招待・お知らせP10
- 理事会開催状況・選挙公示P11
- 事務局だより・新刊案内P12

発行日 平成26年1月6日

発行者 高島和歌子

編集者 広報委員会

発行所 公益社団法人 熊本県看護協会
熊本市東区東町3丁目10番39号

TEL 096-369-3203

FAX 096-369-3204

URL <http://www.kna.or.jp>

会員数 15,084名(平成25年12月25日現在)

会長あいさつ



熊本県看護協会 会長
高島 和歌子

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、健やかに新たな誓いととも
に、新年を迎えられたことと存じます。

さて、25年度の事業の進捗状況についてお知らせし
ます。

一般研修は予定どおり開催され、がん、フィジカルア
セスメント、災害看護、医療安全についてはシリーズ化
し、理解を深めていただくようにしました。

長期研修は、ファーストレベル、訪問看護師養成研修、
実習指導者講習会、新人看護職員研修責任者等研修一
責任者・教育担当者(部署単位)・実施指導者(プリセプ
ター)の研修が終了し、現在は、セカンドレベルの2月終
了を残すのみとなりました。

県委託の訪問看護支援事業としての訪問看護ステ
ーションサポートセンターは、ホームページに多くのアク
セスがっております。また「訪問看護のしおり」は、関係
機関に大変好評です。診療報酬改定後の対応や訪問看
護ステーション運営相談に担当者が丁寧に対応してい
ます。訪問看護ステーションのなかった地域に数ヶ所立
ち上げてきています。又、訪問看護普及啓発事業として
訪問看護についての30分テレビ番組や広報媒体のDV
D作成を予定しています。

看護人員の確保については、県とナースセンターが
連携し、潜在看護師のための再就業支援研修や点滴・採
血の演習を行い、看護の現場への復帰を図っています。
これらの研修や演習で受講者の40～50%の方が再就
職されました。また、復帰の場所は病院だけでなく、在宅
医療を支える訪問看護師としての再就業を推進する研
修も、県内看護系大学で企画実施されています。

「看護管理者会」は、当研修センターでの会(中央会
議)と、支部との連携を深めるために県内の地区別看護
管理者会の2本立てで開催しており、1月末までに全て
終了予定です。同じ地区の看護管理者の課題や解決策
についてのグループワーク・発表は、県看護協会にとつ
ては、貴重な意見をいただくよい機会であり、今年度は

介護施設・訪問看護ステーション等、また非会員の施設
の管理者にも参加いただきましたので、各地域の看護
を巡る課題の把握が深くなったと大変うれしく思ってお
ります。11月23日の午前中に、看護管理者会(中央)を
開催しました。午後は日本看護協会常任理事・洪愛子氏
の特別講演『看護制度の変革で現場が変わる—能力認
証制度創設までの道のりと准看護師制度廃止への実証
的根拠—』を開催しました。

2年前からの厚労省通知「看護師等の雇用の質の向
上への取り組み」は、昨年「医療分野の雇用の質向上
取組」へとタイトルが変わりましたが、2年間の看護師
等の雇用の質向上取り組みが基本となって、医療分野
つまり組織全体の雇用の質向上取り組みが推進されよ
うとしていることをうれしく思います。「看護部の頑張り
のおかげで他職種の労働環境改善にも良いことがあつ
た」「求職者が増えた」「人材育成が進んだ」等の声が聞
かれます。WLB推進に現在10施設が取り組んでいた
たおり、夜勤・交代制勤務ガイドラインに沿った勤務の
見直しについても、少しずつ進んでいるように感じます。

今年も、課題として、看護師確保と平行する夜勤・交
代制の見直しや労働環境改善等の雇用の質の向上、訪
問看護師の養成・訪問看護ステーションを増やすなどの
訪問看護推進、介護施設や老人施設に勤務する看護師
の看護機能の発揮支援と研修機会の増大があります。
また地域包括ケアシステム構築の中での看護職の役割
発揮も期待されています。会員の皆様とこれらの課題を
共有して推進してまいりたいと思います。

最後になりますが、委員会での活動、教育研修の講師
やファシリテーターとして、またボランティアの皆様によ
る「まちの保健室」開催、災害支援ナース育成等、本当
にたくさんの方にご支援をいただいていることに感謝申
し上げます。

今年度は午年ですね。今年も皆様にとって素晴らしい年
でありますようお祈り申し上げます。

平成26年元旦 高島和歌子

受章おめでとうございます



平成25年
秋の叙勲 瑞宝単光章

白岩 生美様

(独立行政法人 労働者健康福祉機構 熊本労災病院 看護部長)

産科医療功労者 厚生労働大臣表彰

福嶋 昭子様

(医療法人社団 愛育会 福田病院 看護部長)

平成25年度看護管理者会および特別講演会(中央開催)

日時:平成25年11月23日(土)

特別講演
「看護制度の変革で現場が変わる」
〜能力認証制度創設までの道のりと
准看護師制度廃止への実証的根拠〜
講師 日本看護協会 常任理事 洪愛子氏



平成25年度中央における看護管理者会を平成25年11月23日(土)研修センターにて開催、午前
に看護管理者会、午後特別講演が開催されました。
管理者会では理事も含めた74名の参加で開催し、
協会活動やナースセンター報告、三職能報告等があり
参加者からは協会の活動について理解できたとい
う意見が寄せられました。事前アンケートについては、
日本看護協会から配信されている様々なガイドブ
ック等の認識度についてお尋ねしたところ、新人看護
職員研修の手引き、夜勤・交代制勤務に関するガイ
ドラインの普及、WLB推進についてはほぼ100%

近くの管理者に周知ができており、各施設で活用されていることがわかりました。しかし、介護施設における看護の機能強化については42%の認知度にとどまりました。また午後からの講演の内容にも取り上げられている、特定行為に係る看護師の研修制度の検討については77%の方が「知っている」と答えられ19%の方が「知らない」という結果でした。グループワークでは、課題や悩みについてテーマを決め意見交換や情報交換をしてもらい、活発な意見交換が行われました。中でも「看護職の定着に向けての取り組みについて」話し合ったグループが大半を占めており管理者の切実な思いが伝わってきました。

午後からの特別講演は、セカンドレベル受講生を含む111名の参加がありました。「能力認証制度創設までの道のり」はまさに旬な話題でもあり、動きを知る部分で興味深く聞くことができ、これからの活用や管理者としてどう関わるべきか理解できたのではないかと思います。また、「准看護師制度廃止への実証的根拠について」も正しく理解し、なぜ廃止に向けた行動があるのか、2年課程(通信制)進学者に対する意識調査報告書等からも今後の方向性がみえてきたように思います。講演後の感想では、「きちんとお話を聞きよく理解できた」「タイムリーな話題でよかった」「断片的に聞いていたことがつながった」等々これからの看護管理につながったようでした。私たち看護職はこれからどこを向いて進んで行くべきか示唆していただいた講演でした。

文責/常務理事 竹田 和子





ワーク・ライフ

WLB実践病院に聞きました

看護職の働き方に革命を起こす
これから、10回シリーズでWLB

【ビジョン】
仕事と生活の充実ができて
モチベーションを高めることができる
魅力ある職場づくり



平成22年度から日本看護協会が取り組んでいる「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」事業。この事業は都道府県看護協会と日本看護協会が協働して、地域を主体に看護職の働き続けられる職場づくりのための活動を全国的に展開する初の試みです。平成25年度現在で、43都道府県363施設がWLB実現に向けた取り組みを行っています。

熊本県は平成23年度より参加し、現在、県下10施設がこの事業に参加されています。その取り組みをご紹介します。



病床数:179床一般急性期病床
(回復期リハビリテーション病床43床を含む)
透析ベット35床あり
平均在院日数:15日
病床稼働率:99.4%
入院基本料:10:1
看護師数:160名
医師数:31名(非常勤含む)
災害拠点病院・第2種感染症指定病院・救急告示病院で、地域の中核病院を目指しています。

1年目



①ワーク・ライフ・バランス
委員会を立ち上げ

②「ノー残業デー」の設置
毎月第3水曜日

“はよもどろ
キャンペーン”



2年目



①新病院移転

②就業規則改正に伴い
制度の周知を目的に
“職員ポケット手帳”
に育児休業法関連の
内容を盛り込む。



院内保育所



研究発表会

ワーク・ライフ・バランス の取り組み



ワークライフバランス実践病院の取り組みを聞いてみました。
の活動成果について紹介します。



3年目

- ①勤務希望などを明確化
- ②“勤務作成システム”の導入

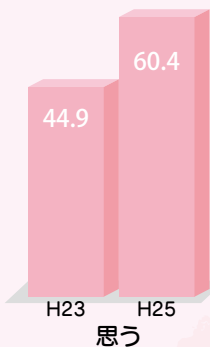
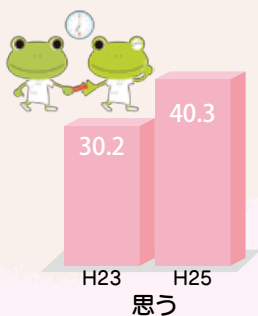


男女共同参画社会づくりで
県知事表彰を受けました。

看護部だけでなく、医師・事務職を交えたワークライフバランス委員会のメンバーで頑張っています。

この3年の取り組みでの看護職員の意識の変化

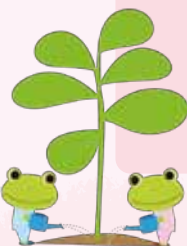
- 定時で終わる業務である
- 気兼ねなく帰れる



評価

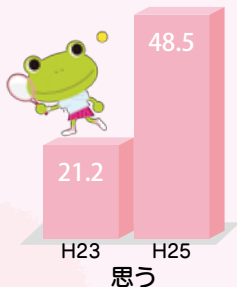
推進体制が整備され病院全体としての取り組みとなったことにより、WLB推進とスマートライフプロジェクト推進ということが中心となりビジョンであった“魅力ある職場作り”に向けた基盤づくりができたと思います。少しずつ“働きやすい・働き続けられる職場”に近づいているのではないかと思います。

今後この活動をアピールし人材確保につなげ、地域に求められる病院となるように推進していきたいと考えております。

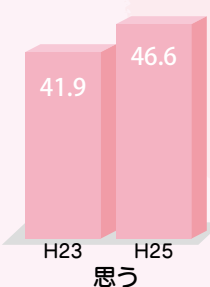


- 能力向上の機会になっている

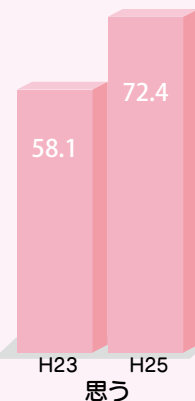
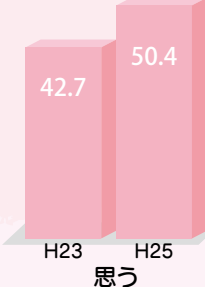
- 連続した休暇取得



- 働き方に満足



- 長く勤めたい



(インデックス調査より)

ワーク・ライフ・バランス推進フォローアップワークショップ開催

(1月23日(木)9:30~16:30 熊本県看護研修センター3F)

平成23年度より参加施設	平成24年度より参加施設	平成25年度より参加施設
あおば病院 江南病院 宇城総合病院 にしくまもと病院	表参道吉田病院 鴻江病院 堤病院	熊本リハビリテーション病院 済生会みすみ病院 平成とうや病院

日本看護協会「ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」事業に参加し今年度で3年目。左記、取り組み施設が、1年目・2年目・3年目とこれまでの取り組みについて発表します。これから「ワーク・ライフ・バランス」に自施設で取り込まれる皆様には参考になる事例ばかりです。ぜひ、ご参加ください。

熊本市民健康フェスティバル



熊本市長さんもAED使用体験

平成25年9月28日(土)・29日(日)の2日間、熊本市民健康フェスティバルが、鶴屋東館7階 鶴屋ホールを中心とした会場にて開催されました。

熊本県と熊本市の保健・医療機関の専門家により、各団体の特徴をいかした相談、測定、体験コーナー及び各資料提供など、工夫を凝らした内容で実施されました。

熊本県看護協会も、熊本市の東・西・南の3支部から出動し、協会員のべ42名がスタッフとして担当しました。

活動内容は、身長・体重の身体測定、血圧測定、体脂肪測定、看護・更年期相談及び心肺蘇生体験指導でした。各ブースに中高年者を中心に2日間でのべ2540名の来場がありました。特に血圧や体脂肪測定には20名程度の列ができるほどの大盛況でした。看護・更年期相談ブースを始め、他ブースでも様々な健康に関する相談が寄せ

られました。高血圧と内服の関係、糖尿病と食事、健康のための軽い運動、また今ある症状についての対処方法など、身近な健康問題が多くありました。質問に対し担当者が、それぞれの知識やパンフレットを用いてわかりやすく説明を行い、「参考になりました」「かかりつけ医と相談してみます」などの反応が聞かれていました。

心肺蘇生法については、一次救命処置の重要性と患者発見時の対応、蘇生方法の流れを説明し、シミュレーターを用いて、蘇生法及びAED使用の体験をしていただきました。胸骨圧迫は、指導のポイントを理解し上手に実施されていました。「いざという時にためになる」「以前も受けたことがあるが、より理解できた」など充実した体験になったようでした。

来場者の中には、毎年楽しみにして来場されている方、2日連日で来場される方もおられ、この健康フェスティバルが市民の中に定着されつつあることがわかりました。

今後も、このような機会を通し、市民の皆様の健康と福祉の向上に役立てるよう、看護協会及び支部活動を通しながら関わっていきたく思います。

文責／熊本南支部(済生会熊本病院)

仁木ひろみ



◆ 来場者数一覧 ◆

	身体測定	血圧測定	体脂肪測定	看護相談	心肺蘇生体験	更年期相談	計
9月28日	347	337	360	5	83	15	1,147
9月29日	437	434	413	19	74	16	1,393
計	784	771	773	24	157	31	2,540
前年度	527	794	793	120	172	62	2,468

平成25年度 「潜在看護師再就業支援研修会」開催 報告

看護職の資格を持っていて家庭や育児などの理由で離職しブランクのある方や、再就業希望の方を対象に **仕事へ復帰するための研修会** を開催しました。

講師の方や
県内18の実施施設に
感謝します

開催日・会場 11月6日(水) 熊本県看護研修センター
11月7日(木) 熊本県内18施設(熊本市内10施設・熊本市外8施設)
11月8日(金) 4施設のみ別日程(10月末から11月末の間)で開催
参加者 35名

	9:00	10:00	10:20	10:10	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
プログラム	11/6(水)	受付	開講式	看護の動向	感染対策		医療安全	模擬血管モデルを用いた採血・注射		
	11/7(木)	電子カルテ記録	医療機器		急変時の対応	電子シミュレーション	実習			
	11/8(金)	実習				実習				

【年齢別・資格別】

	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
25~30	0	0	0	1	1
31~35	1	0	1	5	7
36~40	0	0	1	2	3
41~45	0	0	6	1	7
46~50	0	0	5	2	7
51~55	1	0	1	3	5
56~60	0	0	3	1	4
65~70	0	0	1	0	1
計	2	0	18	15	35

【ブランク年数別・資格別】

	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
~1年未満	0	0	4	1	5
1年~3年未満	0	0	0	1	1
3年~5年未満	0	0	1	1	2
5年~10年未満	2	0	2	3	7
10年~15年未満	0	0	4	4	8
15年~20年未満	0	0	4	2	6
20年~25年未満	0	0	2	1	3
30年~35年未満	0	0	1	2	3
計	2	0	18	15	35

参加者の平均年齢は、**45.2才**。ブランク年数別では、10年~15年未満が8名であった。

平成25年度 再就業支援研修会



4月にナースセンターに登録し研修を重ね、ようやく就業にふみきる覚悟ができました。手厚いサポートを受けることが出来、大変感謝しております。



研修では、最低限必要な事が組み込まれていて、大変有意義な研修を受けることができました。



同じ思いで再就業希望の方とお会いでき、励まされました。看護の動向では、看護師が必要とされていること、感染・医療安全対策では必要性が理解できた。

実習場所のナースの皆さんから、「ブランクがあっても大丈夫よ」と励まされ、就業意欲が湧きました。

実習ではたくさんの事を教えて頂き、再就業できるようにと思います。

「再就業支援研修会」を天草支部・有明支部主催で開催しました

天草支部：9月14日(土) 7名参加
会場：健康保険天草中央総合病院

有明支部：10月26日(土) 6名参加
会場：司ロイヤルホテル



がんばれナース



今回は、通信制看護学科の紹介です vol.1

「看護師を目指して」

社会医療法人 ましき会 益城病院 小幡 祐子



私は、熊本看護専門学校第3看護学科の第1期生で学び、看護師の国家資格を得た一人です。2年課程通信制教育が始まったことを受け、准看護師で10年以上の経験を更にスキルアップさせ看護師として活動の幅を広げたいと思ったことが大きなきっかけでした。

国家試験を受験するためには、決められた履修時間や修得単位数を取得することが必要です。働きながら学ぶ私にとって仕事はもとより、家事・育児、母親の病気療養など体験しながら限られた時間をどのように組み立て取り組んでいくかが大きな課題でした。時間が無情に刻まれていく自分自身との戦いの日々、周囲の支援なしでは到底乗り越えられなかったと思います。志を共に歩んでいる仲間がいたことや職場や家族の理解と協力が私に勇気をくれました。また職場の就学支援助成金制度も大きな存在です。仲間と共に充実した時間を過ごし得られた結果は一生の宝物です。知識の引き出しは確信と自信に繋がりました。

資格取得後、日本精神病院協会の精神科永年勤続30年の受賞も私の誇りです。2年前くも膜下出血で倒れ救急搬送されましたが幸いにも後遺症も残らず元気で働いています。入院期間の短縮で在宅治療が求められる看護師の働く場も拡大し看護師の役割が重要視されています。看護師となり6年が経過し担う責任も重くなりましたが、今後も周囲への感謝の気持ちを大切にしながら自己研鑽に努め看護サービス向上のため頑張っていきます。

これから国家試験を受験する通信制受験生の皆さんには頑張って資格を取って欲しいと思います。最後になりましたがこの場をお借りし、お世話になった先生方に感謝申し上げます。

「私にとっての進学」

医療法人 社団 仁誠会クリニック光の森
熊本看護専門学校2年課程通信制看護学科

井上かおる



私は資格を身に付けたいという動機で看護学校に進学しましたが、2年生の後半で体調を崩しやむなく退学しました。一度諦めた看護の道ですが、どうしても諦めることができずその後、准看護師となりました。結婚・出産と転機がある中で次の目標は「40歳までには看護師になりたい」と思っていました。そんな私の背中を押してくれた出来事があり進学に至りました。

現在、透析施設に勤務し12年目になりますが、2年前その職場で原疾患に脊椎腫瘍を抱えたターミナルの方を担当していました。その方は文学を愛し、最後まで自宅で大好きな本に囲まれて生活したいと強く希望され、家族もその思いを支えようと必死でした。透析と並行し訪問看護を取り入れ、最後を迎えられました。在宅生活を支える訪問看護の役割を目の当たりにし、「在宅看護を学びたい」という思いが強くなり、「今でしょ!」と一念発起し、家族や周囲の人々の理解と協力を得て進学しました。

入学してからは、通信制の特色であるレポート課題に取り組まなければならない、文献や参考書を山積みにして途方に暮れることもありましたが、やる気を維持するため自分の「できる目標」を設定し、目標をクリアした喜びをご褒美に頑張ってきました。仕事と育児をしながらの学習は毎日が自分との戦いですが、実習で患者さんから「不安だったけどあなたが詳しく話してくれたから安心した。」という声をいただき、学習を通じて知識が身に付いてきたことを実感し、自分の成長を楽しむ機会ともなりました。

今、「国家試験」というかなり高い壁を目前にして、壁を超えた時の明るいイメージを描きながら、しっかり前を向いて頑張りたいと思います。

介護福祉施設の看護師紹介

社会福祉法人 郁栄会 地域密着型小規模特別養護老人ホームサンビレッジ高平台
看護・介護科長 安藤 明子

私は、平成22年7月同系列の特別養護老人ホーム(以下特養)の開設に伴い、病院勤務から特養へ異動となりました。私にとって初めての特養勤務は看護の原点に戻れる機会を与えてくれる場となっています。特養は病院と違い入居者にとっては生活をする家と同じであり、終の棲家にもなるところです。当施設は全室個室のユニットケアを行っており、平均年齢87歳、平均介護度4.48と介護度の高い方が入居されています。ユニットケアとは、「今までの暮らし」の継続性を維持し、それぞれの入居者の意思と自己決定を最大限尊重したケアです。いわゆる個性を生かすことが出来、その関わり方次第で入居者が変化して

いくというケアの奥深さを痛感しています。さらに、看護師は入居者が安定した生活が送れるように多職種(特に介護職)との協働の中でお互いを尊重しながらケアを行うことを重要視しています。又、特養には医師が常駐していませんので、症状が出にくい高齢者のサインを見逃すことなくアセスメントを行い、医療に繋げて行かなければなりません。医療や看護の知識は勿論のこと、観察力や判断力が要求されます。入居者のほとんどの方が、人生の集大成を当施設で迎えられます。その時に、その場に立ち合えその方の家族と一緒に人生の最期に関わることの出来るこの仕事に誇りを持っています。そして、特養における看護のすばらしさを日々痛感しているところです。



介護老人保健施設 みつぐ苑 看護部長 泉 良子

当施設は熊本市北区に位置し、近くにはフードパルや熊本保健科学大学があり、のどかな田園風景に囲まれた入所80名・通所リハ50名の診療所併設型の介護老人保健施設です。

入所棟に勤務する看護職は看護師10名(パート2名)と准看護師2名で、高齢者疾患全般の看護、認知症専門医がいるため認知症の初期から後期までの看護、ターミナルケアを行っています。看護職の平均年齢は49歳で、定年後も継続雇用で勤務している看護職もいます。

昨今は医療ニーズも高まり、PEG(胃瘻)造設者は現在6名、また、看取りを行う機会も多く、年間平均9~10人のターミナルケアを行っています。高齢者は自分から症状を訴えることが少なく、症状の出現が分かりにくいです。悪化すると急激に状態が悪くなり、日頃からの観察力と判断力が必要となります。「いつもと違う」を敏感に感じ取り、看護師の持っている知識や経験をフルに活用し対応しています。また、急変時は館内放送で「999コール」を行い『苑内救急隊』を編成し救急車に繋いでいます。



公益社団法人 熊本県看護協会 主催事業

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

期間【2013年12月14日(土)～2014年1月13日(月)に限り】

無料ご招待



平成26年度 看護協会入会申込受付中です!

平成26年度の入会申込を開始しました
(有効期間:平成26年4月1日～27年3月31日)

代議員・予備代議員に選出されている方、各委員会に選出されている方、現在「看護職賠償責任保険制度」に加入している方は看護協会入会が条件です。

会員数の多い施設、上記該当される方はお早目の手続きをお願いします。会員証の発行には2ヶ月ほど期間を要しますので2月中旬までにご入会いただきますと、4月頃に新しい会員証がお届けできます。

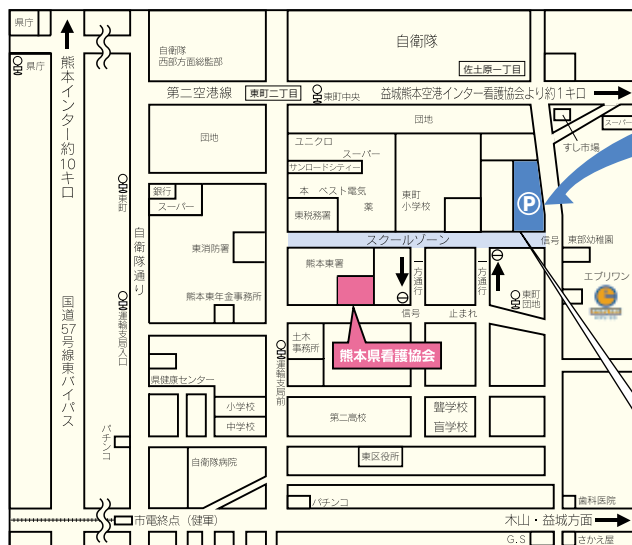
年会費 11,500円 (年度途中で入会されても会費は変わりません)
会費内訳 日本看護協会費 5,000円
熊本県看護協会費 6,500円

入会すると
このような特典も
あります!!



「看護協会」アクセスのご案内

看護協会周辺が整備されました。専用駐車場以外への駐車はご遠慮下さい。



注意!!

入り口
スクールゾーンのため平日は午前
8時30分まで進入禁止

平成25年度熊本県看護協会の理事会開催状況 (平成25年9月～平成25年11月)

今回看護くまもとに掲載する理事会開催状況(協議事項)は以下のとおりです。

平成25年度 第6回理事会 平成25年9月12日(木)

1. 公益社団法人熊本県看護協会職能委員会規則(案)について
2. 公益社団法人熊本県看護協会委員会規則(案)について
3. 公益社団法人会計処理規程改正(案)について
4. 平成25年度熊本県看護協会看護管理者会(中央・地区)について
5. 平成25年度九州地区別法人会の提案事項について
6. 第3回支部長会プログラム(案)について
7. 2013年高校生の1日看護体験実施報告について
8. 医療安全推進週間講演会について
9. 医療メディエーション研修会アンケートについて
10. 在宅ケア移行情報シート使用に関するアンケート調査について
11. 会員委員会アンケート調査について

平成25年度 第7回理事会 平成25年10月18日(木)

1. 公益社団法人熊本県看護協会委員会規則(案)について
2. 公益社団法人会計処理規程改正(案)について

3. 公益社団法人会館建設・整備等資金徴収規程改正(案)について
4. 公益社団法人熊本県看護協会災害見舞に関する規程(案)について
5. 平成25年度補正予算(案)について
6. 平成26年度熊本県看護協会事業運営に関する要望等について
7. 平成26年度熊本県への予算要望について
8. 看護くまもと89号企画案について

平成25年度 第8回理事会 平成25年11月21日(木)

1. 日本看護協会役員推薦について
2. 公益社団法人熊本県看護協会支部運営規程改正(案)について
3. 平成25年度第3次補正予算(案)及び半期決算報告について
4. 会館建設整備資金の指定正味財産への振替について
5. 平成27年度日本看護協会代議員並びに予備代議員について
6. 平成25年度役員・職員研修会並びに交流会について
7. 平成26年度「看護の日」における講演について
8. 熊本県医事功労者知事表彰の推薦について

平成26年度 熊本県看護協会 改選役員及び推薦委員

平成27年度 日本看護協会 代議員及び予備代議員への立候補・推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

平成26年6月21日(土)に開催される平成26年度通常総会において、熊本県看護協会の改選役員及び推薦委員、平成27年度の日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を実施いたします。下記のとおり、立候補、受付期間についてお知らせいたします。

改選役員名・人数

★役員任期は1期2年。

(ただし、任期半ばで交代した場合は前任者の残任期間とする)

1. 会長1名、副会長2名、常務理事1名、保健師職能理事1名、助産師職能理事1名、看護師職能I理事1名、看護師職能II理事1名、熊本東地区理事1名、熊本西地区理事1名、八代・水俣・人吉地区理事1名、准看護師理事1名、監事3名(ただし1名は会員外から選出する)
2. 推薦委員:保健師2名、助産師2名、看護師4名計8名
3. 代議員11名、予備代議員11名

立候補について

立候補される方は公益社団法人熊本県看護協定会款細則第18条の規定に基づき、本会正会員5名以上の推薦を受けて届け出てください。

《届出方法》

届出書:①立候補届出書②立候補推薦書

※様式については熊本県看護協会事務局へお問い合わせください。

TEL:(096)369-3203

《立候補の届出期間》

平成26年1月21日～

平成26年4月21日(当日消印有効)

《選挙期日及び場所》

平成26年度公益社団法人熊本県看護協会通常総会

期日:平成26年6月21日(土)

場所:熊本県立劇場(演劇ホール)

届け先:〒862-0901

熊本市東区東町3-10-39

公益社団法人熊本県看護協会

選挙管理委員長 藤本睦代 宛

熊本県看護協会会館整備資金納入施設名簿

期日：平成25年9月1日～平成25年11月30日

施設名	件数	金額
上天草総合病院	6	180,000
熊本回生会病院	2	60,000
江南病院	1	30,000
菊陽台病院	3	90,000
合計	12	360,000



くまもと成仁病院 城 博美さん作

新刊案内 New publication guide

書籍名	副題	出版社
スタッフのやる気を引き出す目標管理の実践評価ワークブック	続・成果のみえる病棟目標の立て方	日本看護協会出版会
ひとを育てる秘訣		医学書院
リラクゼーション法入門	セルフケアから臨床実践へつなげるホリスティックナーシング	日本看護協会出版会
介護施設の看護実践ガイド		医学書院
はじめよう! フットケア	第3版	日本看護協会出版会
(自信がつく!) 医療安全My Book	1版	日本看護協会出版会
(もしもの時に必ず役に立つ!) 緊急・応急処置Q&A	1版	日本看護協会出版会
NANDA-I看護診断	定義と分類 2012-2014	医学書院
看護白書	平成25年度版	日本看護協会出版会
厚生労働白書	平成25年度版	厚生労働省編

平成26年度 日本看護協会通常総会

開催日時：平成26年6月10日(火)～12日(木)
場所：愛知県(日本ガイシホール)

平成26年度 熊本県看護協会通常総会

開催日時：平成26年6月21日(土)
場所：熊本県立劇場(演劇ホール)

第45回日本看護学会

—ヘルスプロモーション— 学術集会

開催日時：平成26年8月28日(木)・29日(金)
場所：熊本県立劇場

◎インフルエンザ対策にご活用ください。



厚生労働省の専用ホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策」が開設されました。インフルエンザに関する情報、予防のための啓発ポスター等がダウンロードできます。

厚生労働省ホームページ
(トップページ) <http://www.mhlw.go.jp>
(専用ページ) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>



研修計画冊子をご存知ですか？

毎年度初めに会員様に1冊ずつお届けしている研修計画、来年度も色を変えて制作されます。どうぞご活用いただき計画的に研修にご参加ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も会員皆様の活動の“見える化”を広報でご紹介できるよう取り組み、会員皆様の役に立ち、楽しめる内容となるよう頑張ります。たくさんの情報をお待ちしています。今年も“看護くまもと”をよろしくお祈りします。

編集(広報委員)

担当理事	耕 理千子	
委員長	松村 英尚	
委員	筑紫 弥生	木村 真澄
	前川 友恵	都築 美幸
	渡邊 由美	池松 敦子
	松田知恵美	



表紙のご紹介 提供：阿蘇市